



シルバーだより

No. 321
平成 29 年 4 月 1 日
荒川シルバー大学
荒川区荒川 3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

平成 29 年度の出発にあたって — 自分らしく楽しい生活をするために —

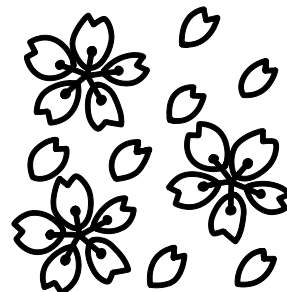
理事長 岡田 芳子

平成 29 年度が始まりました。荒川シルバー大学は歴史を重ね 920 名近い学生と講師で創りあげ創立 34 周年となりました。

平成 28 年度の閉講式が去る 3 月 17 日に行われました。ご存知のようにシルバー大学は 60 歳以上の区内在住の学生の受講で、5 年間学ぶと卒業証書が授与され、その後は何年でも何教室でも学び続けられます。平成 28 年度は、10 年間の在籍者 37 名に奨励賞の表彰を、20 年間の在籍者 10 名に学長賞の表彰を行いました。前年度 4 名おりました 30 年間在籍者への理事長賞は平成 28 年度は該当者がおりませんでした。そして感謝状を、常任理事を退任されました広報部長の井口さん、会計の雨宮さん、西尾久地区長の石塚さんの 3 名の方にお渡ししました。

午前中の閉講式に続き、同じ会場で午後盛大に交歓会が行われました。交歓会実行委員会による計画・実施で、194 名の学生・講師が出席され、食事や飲み物を楽しみながら、各教室の学生や講師による、歌あり、踊りあり、即興劇あり、笑いありの出し物で会場を賑わせてくれました。

受賞者のお祝いと、一年間共に学び合えたことの喜びを教室を超えて楽しいひとときを過ごしました。交歓会実行委員会の皆様、本当にご苦労様でした。



さて、いよいよ 4 月 1 日、平成 29 年度が始まりました。

29 年度より「器楽教室」と「何でも教室」の 2 教科が増設され、33 教科 39 教室となりました。4 月 1 日現在のべ 1426 名となり一人で 7 教室を受講している方もおられると聞き驚きです。

私は日頃から家の中の生活だけでなく外に出ることが大切だと思っています。こうしてシルバー大学に通って、脳に心に体に刺激を与え活性化を図ってられる学生の皆様に敬意を表します。

私もせめて自分に活を入れるために、色々なマーケットに行きます。マーケットによって品物の並べ方が違います。また同じマーケットでも時々並べ方を変えています。どこに何があるか分かりにくいのですが、それを探ることが脳に刺激を与えるとのこと。何事も前向きに考えることがよいというわけです。

今年も大勢の友だちの考え方を受け入れ、楽しく学び合いましょう。

書道金曜教室講師 八嶋 セツ子

教室には 30 余年シルバー大学で書が続けいらっしゃる方がおります。「どんな時でも、嫌なことがある時でも、筆を持って書いているとすっきりするのよ」とニコニコ話して下さいました。作品にも気品があり若々しいです。楽しく長く続けることの大切さを身近に学び励まされます。

教室では新学期になるとすぐに学園祭の作品作りを始めたいという声が聞こえてきますが、7月までは基礎・基本練習として古典の臨書が続けます。臨書とは、古典の名筆をそのまま真似て書くことです。名筆を手本に臨書することは字形ばかりでなく、筆使い・内容・書家の人物歴史まで理解できて、作品作りにととても役立ちます。

また、気持ちを一変することも大切です。教室から一步外に出て街を散策すると看板やのれん、お菓子の包装紙などに素晴らしい書を発見することがあります。書道でも散策の時間を取り入れて、楽しみを広めていきたいと思っております。

《《 自然と小さな旅教室 》》

自然と小さな旅教室講師 箭内 忠義

相談役の稲川君江先生から平成 28 年度、バトンを引き継ぎました。稲川先生は平成 15 年に「自然と小さな旅」を立ち上げ、13 年にわたり講師を務めてこられました。改めて、稲川先生のご尽力に感謝する次第です。瑞光小学校での稲川校長との出会いの縁があり、荒川シルバー大学に関わらせていただくことになりました。しかし不安でした。

まず、学生さん全員が女性であることです。女性の中に男性一人が入って大丈夫なのだろうかということです。しかし、稲川先生に「大丈夫よ」と背中を押され、一步を踏み出すことにしました。



始めてみますと、伊東千代子さん、増山美代子さんという力のある世話人の方々、それに、松本タキ子さんというテキパキとした助手の方がチームワークよく様々なことに的確に対応してくれました。まさに、「女性は強い」を実感しました。

次に、どんな所に行けばいいのだろうか、本当に困りました。しかし、迷っていても仕方ありません。皆さんと行ったら楽しいだろうなと思う所を考えました。最初に行った所は、秩父宮記念公園でした。そして、皇居東御苑、浜離宮恩賜庭園、榛名湖、鎌倉などでした。来年はどこに行きましようか。

《《 絵手紙 B 教室 》》

絵手紙教室に入学して早くも 10 年が経ちました。10 年前は始めに A 組、3 年勉強すると B 組に進級できました。成績は考慮されずに進級して今日に至っています。A 組で「絵手紙は下手が良いのよ」と芳子先生に褒められ「下手とは何か？」考えつつ A 組から B 組に。直美先生には円窓、カレンダー、扇面、写生など自由に描くことを習いました。

「都電絵手紙コンテスト」に皆で参加したり、中学生の絵手紙教室のお手伝い

もしました。釜石市の皆さんに絵手紙を届けました。また、「絵手紙教室 10 周年記念作品展」に向けての作品作りをしていました。その作品展の直前、直美先生は風になられ本当にショックでした。

次の年は塚田先生に絵手紙 B 教室の受持ちになっていただきました。「美について」色々ご講義していただき、野菜や果物、大津絵から西洋画など幅広く、塚田先生の体からほとぼしり出ていました。2 年半程で絵手紙 B 教室の皆の脇を風となって飛んで行かれました。今は遠藤先生と勉強しています。光や影が有ることや発表の楽しさを知りつつの今日この頃です。遠藤先生からは「まずは自画像」と自分を見つめながら絵手紙 B 教室に通っています。

(絵手紙 B 教室代表 松田 和子)

— 私は 90 歳を超えました — 現在の様子を語って頂いています NO. 7

◎豊田マスさん (気功教室在籍)

(広報部インタビュー)

気功の授業後にお会いしました。背筋が真直ぐ伸びとても 90 歳とは思えない姿の方がお見えになったので驚きました。

私は、シルバー大学へは 60 歳から入学しました。当時このような組織は無かったので、私の健康のためにはこれしかないと思い、気功とダンス教室に入りました。主人が亡くなりまして 8 年になりますが、主人は弱かったので長い間看病いたしました。私も働いており大変でしたが、シルバー大学へまいりますと、皆様明るく楽しいので元気になりました。

シルバー大学のお蔭で元気でいられると思い、感謝の気持ちで役員もお引き受けしました。お陰で功労賞も頂きました。現在、地域の合唱団にも属し、毎年区民音楽祭にも参加し、楽しく歌っています。

数年前、股関節の手術をしましたが、皆様ベッドになさる方が多いですが、私は、お布団を使用しています。足腰の健康のため朝晩布団の上げ下ろしを行っております。娘が心配しますが、自分の事は自分で行うように心がけております。元気でいられるのもシルバー大学と皆様のお陰と、感謝して生きています。

◎関口久子さん (硬筆教室在籍)

舅と姑、そして主人を見送り、家に居るとボケてしまうのではと思い、平成 3 年入学して 24 年になります。水墨画や気功も楽しみましたが、今は硬筆を学んでいます。シルバー大学はとても楽しいので、長い間続けられました。講師の先生方、硬筆の皆様方に感謝しています。

シルバー大学で教えていただいた「感謝・有難う・笑顔」を信条に、そして姑の言葉「利口にならず馬鹿になれ」を心に刻み生きてきました。20 歳の時に終戦、江東区木場に住んでいましたから、大変な戦禍を体験しました。戦争は本当に嫌です。最近手はしびれたり、膝が痛んだりしますが、ころぼん体操やボウリング (ペットボトルを倒します) 等を楽しみながら、忙しく過ごしています。良いと思う事は何でもやってみます。

何事にも前向きで、ヨーグルト作りは 17 年間続けているそうです。その成果でしょうか、お肌ツヤツヤ輝いていらっしやいます。近々白内障の手術を考えていらっしやるそうです。楽しみが広がることでしょうかね。

貴重な硬筆教室のお時間にお話して下さり有難う御座いました。

